

太径曲線パイプルーフ工法



アーチ状の曲線パイプルーフ（φ500以上）を支保工として、
2本のシールドトンネルを非開削で地中接合

合理化技術 高速・長距離施工技術 岩盤・高水圧対応技術 自動化・省力化技術 拡幅/地中分岐・合流技術 防災技術 セグメント関連技術 その他関連技術

お客様のメリット

- アーチ状の曲線パイプルーフにより、2本のシールドトンネルを非開削で地中接合します。
- 既設トンネルからの施工が可能となり、地上の用地確保が不要です。
- 鋼製の太径パイプルーフで土圧・水圧を支保し、構造体としての信頼性の高い工法です。
- 地盤改良の併用により地下水位の低下を抑え、地表面への影響を低減します。

技術の特徴

曲線パイプルーフ工法は、既設トンネルからの施工が可能で地上の用地確保が不要です。また鋼製の太径パイプルーフで土圧・水圧を支保するため、構造体としての信頼性が高く、地盤改良の併用により地下水位の低下を抑え、地表面への影響を低減します。

既設トンネルからの施工が可能

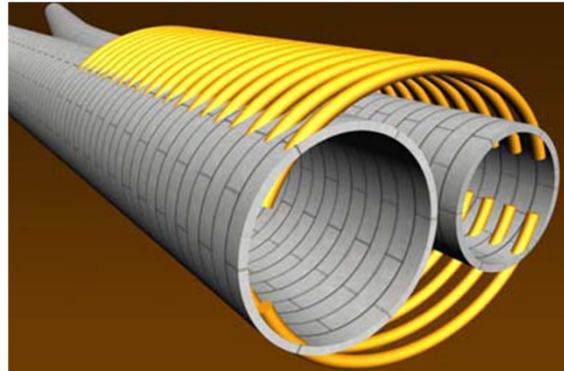
片側トンネルから曲線パイプルーフを施工することで、地上からの開削工事が不要となるため、地上の用地確保が不要となります。

構造の高安定性

鋼製の太径パイプルーフで土圧・水圧を支保するので、構造体としての信頼性の高い工法です。

環境配慮

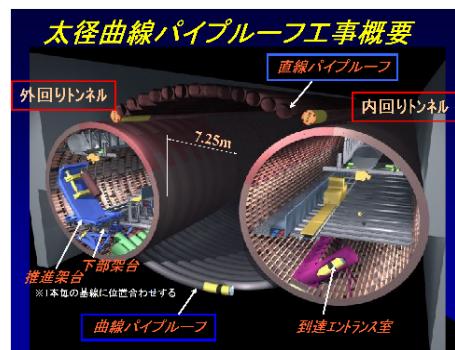
地盤改良の併用により地下水位の低下を抑え、地表面への影響を低減します。
更に非開削での施工であり、都市機能や生活環境への影響を最低限にすることができます。



曲線パイプルーフ掘進

実績・事例

首都高中央環状新宿線SJ22工区（2-1）富ヶ谷出入口トンネル工事



曲線パイプルーフ概要図



曲線パイプルーフ推進機



曲線パイプルーフ推進架台